

令和 6 年度 学校関係者評価書

学校法人 本山学園

岡山医療専門職大学

学校関係者評価委員会

令和 7 年 3 月 31 日

令和 6 年度 学校関係者評価報告書

学校法人本山学園
岡山医療専門職大学
学校関係者評価委員会

学校法人本山学園 岡山医療専門職大学 学校関係者評価委員会は、「令和 5 年度自己点検・評価報告書」の結果に基づき、令和 6 年 12 月 10 日に学校関係者評価を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 学校関係者評価委員

氏 名	所 属
熊代 功児	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 理学療法士
妹尾 洋明	公益財団法人 慈圭会 慈圭病院 作業療法士
六車 剛	一般財団法人 志清会 岡山記念病院 事務長
湯浅 信夫	ユアサ工機株式会社 会長（技術顧問）
高柴 正悟	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻 病態機構学講座 歯周病態学分野 教授

本学園出席者

氏 名	所 属
小野 俊朗	岡山医療専門職大学 健康科学部 学部長

3. 令和 6 年度自己点検・評価における学校関係者評価

評価項目における学校関係者の評価及び意見、提案（以下、「評価等」という）をご報告いたします。

＜評価の判断＞

☐ 「基準を満たしている」

☐ 「基準を満たしていない」

基準 1. 使命・目的

基準項目			自己評価	外部評価
1-1 使命・目的及び教育目的の設定		基準判定の留意点		
1-1-①	意味・内容の具体性と明確性	使命・目的及び教育目的を具体的に明文化しているか。	☑ 基準をみたしている	☑ 基準をみたしている
1-1-①	簡潔な文章	使命・目的及び教育目的を簡潔に文章化しているか。		
1-1-③	個性特色の明示	使命・目的及び教育目的に大学の個性・特色を反映し明文化しているか。		
1-1-④	変化への対応	社会情勢などに対応し、必要に応じて使命・目的及び教育目的の見直しを行っているか。	☐ 基準を満たしていない	☐ 基準を満たしていない
1-2 使命・目的及び教育目的の反映		基準判定の留意点	自己評価	外部評価
1-2-①	役員、教職員の理解と支持	使命・目的及び教育目的の策定などに役員、教職員が関与・参画しているか。	☑ 基準をみたしている	☑ 基準をみたしている
1-2-②	学内外への周知	使命・目的及び教育目的をどのように学内外に周知しているか。		
1-2-③	中長期的計画への反映	使命・目的及び教育目的を中長期的な計画に反映させているか。		
1-2-④	三つのポリシーへの反映	使命・目的及び教育目的を 3 つのポリシーに反映させているか。	☐ 基準を満たしていない	☐ 基準を満たしていない
1-2-⑤	教育研究組織の構成との整合性	使命・目的及び教育目的を達成するために必要な学部・学科の教育研究組織が整備されているか。		

基準 2. 学生

基準項目			自己評価	外部評価
2-1 学生の受入れ		基準判定の留意点		
2-1-①	教育目的を踏まえたアドミッション・ポリシーの策定と周知	教育目的を踏まえ、アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。	☑ 基準をみたしている	☑ 基準をみたしている
2-1-②	アドミッション・ポリシーに沿った入学者受入れの実施とその検証	アドミッション・ポリシーに沿って、入学者選抜などを公正かつ妥当な方法により、適切な体制のもとに運用し		

		検証を行っているか。	☐ 基準を満たしていない	☐ 基準を満たしていない
2-1-③	入学定員に沿った適切な学生受入れ数の維持	教育を行う環境の確保のため、入学定員及び収容定員に沿って学生を適切に確保しているか。		
2-2 学修支援		基準判定の留意点	自己評価	外部評価
2-2-①	教員と職員等の協働をはじめとする学修支援体制	教職員協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない
2-2-②	TA (Teaching Assistant) 等の活用をはじめとする学修支援の充実	1.障がいのある学生への配慮を行っているか。 2.オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。 3.教員の教育活動を支援するために、TAなどを適切に活用しているか。 4.中途退学、休学及び留年への対策を行っているか。"		
2-2 キャリア支援		基準判定の留意点	自己評価	外部評価
2-3-①	教育課程内外を通じての社会的・職業的自立に関する支援体制の整備	1.キャリア教育のための支援体制を整備しているか。 2.職業・進学に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない
2-4 学生サービス		基準判定の留意点	自己評価	外部評価
2-4-①	学生生活の安定のための支援	1.学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能しているか。 2.奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。 3.学生の自治・課外活動への支援を適切に行っているか。 4.学生の心身に関する健康相談、心的支援、生活相談などを適切に行っているか。	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない
2-5 学修環境の整備		基準判定の留意点	自己評価	外部評価
2-5-①	校地、校舎等の学修環境の整備と適切な運営・管理	教育目的達成のため、校地、校舎、図書館、体育館、休養スペースなどの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。	☒ 基準をみたしている	☒ 基準をみたしている

2-5-②	実習施設、図書館等の有効活用	1.教育目的の達成のために、適切な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。 2.適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。レファレンスなど図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。	☐ 基準を満たしていない	☐ 基準を満たしていない
2-5-③	バリアフリーをはじめとする施設・設備の利便性	施設・整備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。	☐ 基準を満たしていない	☐ 基準を満たしていない
2-5-④	授業を行う学生数の適切な管理	授業を行う学生数は教育効果を十分上げられるような人数となっているか。		
2-6 学生の意見・要望への対応		基準判定の留意点	自己評価	外部評価
2-6-①	学修支援に関する学生の意見・要望の把握・分析と検討結果の活用	学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない
2-6-②	心身に関する健康相談、経済的支援をはじめとする学生生活に関する学生の意見・要望の把握・分析と検討結果の活用	学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。		
2-6-③	学修環境に関する学生の意見・要望の把握・分析と検討結果の活用	施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。		

基準 3. 教育課程

3-1 単位認定、卒業認定、修了認定		基準判定の留意点	自己評価	外部評価
3-1-①	教育目的を踏まえたディプロマ・ポリシーの策定と周知	教育目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。	☒ 基準をみたしている	☒ 基準をみたしている
3-1-②	ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準	ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を適切に定め、厳正に		

	準、修了認定基準等の策 定と周知	適用しているか。	□基準を満た していない	□基準を満た していない
3-1-③	単位認定基準、進級基準、 卒業認定基準、修了認定基 準等の厳正な適用			
3-2 教育課程及び教授方法		基準判定の留意点	自己評価	外部評価
3-2-①	カリキュラム・ポリシーの 策定と周知	ディプロマ・ポリシーの達成を目的 とした、カリキュラム・ポリシーを 定め、周知しているか。	☒ 基準をみ たしている ☐ 基準を満た していない	☒ 基準をみ たしている ☐ 基準を満た していない
3-2-②	カリキュラム・ポリシーと ディプロマ・ポリシーとの 一貫性	カリキュラム・ポリシーは、ディプ ロマ・ ポリシーとの一貫性が確保さ れているか。		
3-2-③	カリキュラム・ポリシーに 沿った教育課程の体系的 編成	1.カリキュラム・ポリシーに即した 体系的な教育課程を編成し、実施し ているか。 2.シラバスを適切に整備している か。 3.履修登録単位数の上限の適切な設 定など、 単位制度の実質を保つため の工夫が行われているか。		
3-2-④	教養教育の実施	教養教育を適切に実施しているか。		
3-2-⑤	教授方法の工夫・開発と効 果的な実施	1.アクティブ・ラーニングなど、授 業内容・方法に工夫をしているか。 2.教授方法の改善を進めるために FD 研修を実施しているか。		
3-3 学修製菓の点検・評価		基準判定の留意点	自己評価	外部評価
3-3-①	三つのポリシーを踏まえ た学修成果の点検・評価方 法の確立とその運用	1.三つのポリシーを踏まえた学修成 果を明示しているか。 2.学生の学修状況・資格取得状況調 査、学生の意識・満足度調査などを 実施し、大学が定めた多様な尺度・ 指標や測定方法に基づいて学修成果 を点検・評価しているか。"	☒ 基準をみ たしている	☒ 基準をみ たしている
3-3-②	教育内容・方法及び学修指 導等の改善へ向けての学	学修成果の点検・評価の結果を教育 内容・ 方法及び学修指導の改善にフ ィードバックしているか。	☐ 基準を満た していない	☐ 基準を満た していない

	修成果の点検・評価結果の フィードバック			
3-4	教育課程連携協議会	基準判定の留意点	自己評価	外部評価
3-4-①	医療・保健・福祉業界及び 地域社会との連携により、 高い実践力と豊かな創造 力を備えた高度専門職業 人を育成するための授業 科目の開設、教育課程の編 成、実施、評価に関する基 本的事項を審議する委員 会の設置。	1.委員会は年2回以上実施され、審議 の経過及び結果は記録されているか。 2.委員会での経過及び結果は学長に 報告され、また教育課程編成に反映 されているか。"	☒ 基準をみ たしている ☐ 基準を満た していない	☒ 基準をみ たしている ☐ 基準を満た していない

基準 4. 教員・職員

4-1	教学マネジメントの	基準判定の留意点	自己評価	外部評価
4-1-①	大学の意思決定と教学マ ネジメントにおける学長 の適切なリーダーシップ の確立・発揮	学長がリーダーシップを適切に発揮 するための補佐体制が整備されてい るか。		
4-1-②	権限の適切な分散と責任 の明確化に配慮した教学 マネジメントの構築	1.使命・目的の達成のため、教学マ ネジメントを構築しているか。 2.大学の意思決定の権限と責任が明 確になっているか。 3.学部長を置く場合、その組織上の 位置付け及び役割が明確になってお り、機能しているか。 4.教授会などの組織上の位置付け及 び役割が明確になっており、機能し ているか。 5.教授会などに意見を聴くことを必 要とする教育研究に関する重要な事 項を学長があらかじめ定め、周知し ているか。 6.大学の意思決定及び教学マネジメ ントが大学の使命・目的に沿って、 適切に行われているか。"	☒ 基準をみ たしている ☐ 基準を満た していない	☒ 基準をみ たしている ☐ 基準を満た していない

4-1-③	職員の配置と役割の明確化などによる教学マネジメントの機能性	教学マネジメントの遂行に必要な職員を適切に配置し、役割を明確化しているか。		
4-2 教員の配置・職能開発等		基準判定の留意点	自己評価	外部評価
4-2-①	教育目的及び教育課程に即した教員の採用・昇任等による教員の確保と配置	1.専門職大学に必要な専任教員を確保、適切に配置しているか。 2.教員の採用・昇任の方針に基づく規則を定め、かつ適切に運用しているか。"	☒ 基準をみたしている	☒ 基準をみたしている
4-2-②	FD(Faculty Development)をはじめとする教育内容・方法等の改善の工夫・開発と効果的な実施	FD、その他教員研修の組織的な実施とその見直しを行っているか。	☐ 基準を満たしていない	☐ 基準を満たしていない

4-3 職員の研修		基準判定の留意点	自己評価	外部評価
4-3-①	SD(Staff Development)をはじめとする大学運営に関わる職員の資質・能力向上への取組み	職員の資質・能力向上のための研修などの組織的な実施とその見直しを行っているか。	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない
4-4 研究支援		基準判定の留意点	自己評価	外部評価
4-4-①	研究環境の整備と適切な運営・管理	快適な研究環境を整備し、有効に活用しているか。	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない
4-4-②	研究倫理の確立と厳正な運用	研究倫理に関する規則を整備し、厳正に運用しているか。		
4-4-③	研究活動への資源の配分	研究活動への資源配分に関する規則を整備し、適切に資源を配分しているか。		

基準 5. 経営・管理と財務

5-1 経営の規律と誠実性		基準判定の留意点	自己評価	外部評価
5-1-①	経営の規律と誠実性の維持	寄附行為に基づき、適切な運営を行っているか。	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない
5-1-②	使命・目的の実現への継続的努力	使命・目的を実現するために継続的な努力をして いるか。		
5-1-③	環境保全、人権、安全への配慮	1.環境や人権について配慮しているか。 2.学内外に対する危機管理の体制を整備し、かつ適切に機能しているか。		
5-2 理事会の機能		基準判定の留意点	自己評価	外部評価
5-2-①	使命・目的の達成に向けて意思決定ができる体制の整備とその機能性	"1.使命・目的の達成に向けて意思決定ができる体制を整備し、適切に機能しているか。 2.理事の選任及び事業計画の確実な執行など理事会の運営は適切に行われているか。"	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない
5-3 管理運営の円滑化と相互チェック		基準判定の留意点	自己評価	外部評価
5-3-①	法人及び大学の各管理運営機関の意思決定の円滑化	1.意思決定において、法人及び大学の各管理運営機関の意思疎通と連携を適切に行っているか。 2.理事長がリーダーシップを発揮できる内部統制環境を整備しているか。 3.教職員の提案などをくみ上げる仕組みを整備しているか。	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない
5-3-②	法人及び大学の各管理運営機関の相互チェックの機能性	1.法人及び大学の各管理運営機関が相互にチェックする体制を整備し、適切に機能しているか。 2.監事の選任は適切に行われているか。		

		3.評議員の選任及び評議員会の運営は適切に行われているか。		
5-4 財務基盤と収支		基準判定の留意点	自己評価	外部評価
5-4-①	中長期的な計画に基づく適切な財務運営の確立	※年次進行中のため完成年度の終了後に判定を行う。	☐ 基準をみたしている	☐ 基準をみたしている
5-4-②	安定した財務基盤の確立と収支バランスの確保		☐ 基準を満たしていない	☐ 基準を満たしていない
5-5 会計		基準判定の留意点	自己評価	外部評価
5-5-①	会計処理の適正な実施	学校法人会計基準や経理に関する規則などに基づく会計処理を適正に実施しているか。	☒ 基準をみたしている	☒ 基準をみたしている
5-5-②	会計監査の体制整備と厳正な実施	会計監査などを行う体制を整備し、厳正に実施しているか。	☐ 基準を満たしていない	☐ 基準を満たしていない

基準 6. 内部質保証

6-1 内部質保証の組織体制		基準判定の留意点	自己評価	外部評価
6-1-①	内部質保証のための組織の整備、責任体制の確立	1.内部質保証に関する全学的な方針を明示しているか。 2.内部質保証のための恒常的な組織体制を整備しているか。 3.内部質保証のための責任体制が明確になっているか。"	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない
6-2 内部質保証のための自己点検・評価		基準判定の留意点	自己評価	外部評価
6-2-①	内部質保証のための自主的・自律的な自己点検・評価の実施とその結果の共有	1.内部質保証のための自主的・自律的な自己点検・評価をどのように行っているか。 2.エビデンスに基づく、自己点検・評価を定期的実施しているか。 3.自己点検・評価の結果を学内で共有し、社会へ公表しているか。	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない
6-2-②	IR(Institutional Research)などを活用した	現状把握のための十分な調査・データの収集と分析を行っているか。		

	十分な調査・データの収集と分析			
6-3	内部質保証の機能性	基準判定の留意点	自己評価	外部評価
6-3-①	内部質保証のための学部、学科、研究科等と大学全体の PDCA サイクルの仕組みの確立とその機能性	1.三つのポリシーを起点とした内部質保証が行われ、その結果が教育の改善・向上に反映されているか。 2.自己点検・評価、認証評価及び設置計画履行状況等調査などの結果を踏まえた中長期的な計画に基づき、大学運営の改善・向上のために内部質保証の仕組みが機能しているか。	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない

大学が独自に設定した基準による自己評価

基準 A. 地域への貢献

A-1	地域への貢献	基準判定の留意点	自己評価	外部評価
A-1-①	岡山県下他大学との連携による取り組み	各大学の連携により地域社会との交流がはかられているか。	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない	☒ 基準をみたしている ☐ 基準を満たしていない

【総評】

学内制度を変化させながら、設立時からの社会の変遷に合わせた変化を重ねられている。なお、定員の充足率の充実を考えると、若い世代の関心に対応しながら、建学の特色を強調する工夫が必要な時期に来ていると思われる。

定員充足に向けて、多様化されている入学者選抜試験とその受験機会数のアピールを、入学候補者の対象地域の高校等に入念に行う必要があると思われる。